



つるかめ通信

11月号

2020.11.10 発行



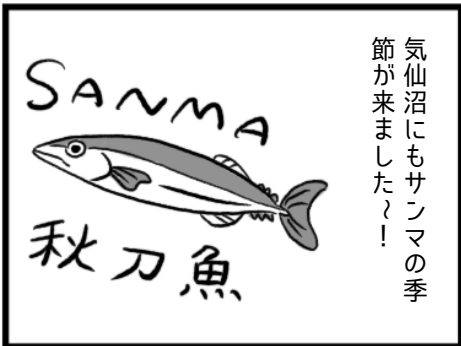
<発行者>
一般社団法人
歓迎プロデュース
気仙沼市魚市場前4-5



ようやく遅ればせながらサンマの水揚げが本格化し、カツオの脂のりもよくなってきた、秋の気仙沼からえまです！みなさんお元気ですか？毎日操業おつかれさまです。最近気仙沼に出勤する朝がとっても寒く、布団から出たくない！日が昇るのも遅くなってきました～。いよいよ気仙沼の冬の気配を感じます。でもこの時期って海から気嵐（けあらし）が昇ったり、夜明けの瞬間のスーとした空気がシャキッとしてなんだか気持ちいいんですよね！寒すぎないこの時期嫌いじゃないです。そうそう、NHK連ドラ「おかえりモネ」のエキストラに1,000人の応募があったんだってー！すごーい！気仙沼市民の関心の高さと期待が伺えますね～。もう市内での撮影も始まっています。いよいよですね～。たのしみー！鶴亀にも撮影きてくれないかなあ～ふふふ！わたしはというと、こないだ唐桑のばーちゃんの畑で子どもたちとサツマイモ掘りをしました。今年のお芋は甘くておいしい～！焼き芋もしました。焼き芋といえばマシュマロ！子どもたちはマシュマロのほかに、ビスケットとチョコレートを持ってきて、焼いたマシュマロをサンドしてました。最近の子どもはおしゃれですね。笑 それでは今月もつるかめ通信、お付き合いくださいー！（えま）

ついに気仙沼に…！

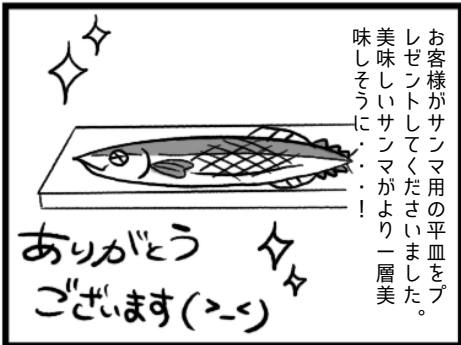
作：ひろな



みなさん、連日操業おつかれさまです！先日出張で栗原市に行ってきたのですが、山がいかんじに紅葉していて、とても綺麗で秋を感じました。そういえば、気仙沼で紅葉をあまり見たことがないのですが、気仙沼にも紅葉スポットありますか？？気仙沼の大先輩方、教えてくださいーい(^o^)/最近の楽しみといえば、もっぱら食べること♡秋の旬は、海から山から豊富に食材があるので毎日飽きません。食材を1番美味しい旬の時期に食べるようになったのは、気仙沼に来てから。それまでは旬なんてほとんど考えたことがなくて、スーパーで1年中売ってる刺身や野菜を当たり前のように食べてました。気仙沼は獲ったひと、作ったひとの顔が見えて、その食材を1番美味しい時期に食べることができる。そんな暮らしがステキだなあとと思います。みなさん！美味しいマグロ獲ってきてねー！待ってまーす！（みどり）



毎回モネちゃんネタも何なので、今回はコロナネタを。日本の新規感染者数は一時期1日250人くらいまで減りましたが最近1000人を超える日も出てきました。特に北海道でクラスターが発生し、すすきの歓楽街に営業時間短縮の依頼を出すほどになっています。とは言っても日本国内での感染者数は累計109,277人で退院してる人が98,234人、死亡者1,835人とヨーロッパやアメリカに比べるとまだまだ少ない数。世界の感染者数は5039万人を超え、ヨーロッパではフランス、スペイン、イギリスなどで感染の第2波が拡大し、厳しい外出制限が再開されました。ちなみにアメリカの1日あたりの新規感染者は10万人を超え、死者は1日1,000人以上だそうです。そこで今話題なのがなぜ人種や国家で差が出るのかという事。前は日本のおほそやBCGが有利に影響しているのではという話もありましたが、最近は白人などのアングロサクソン系の遺伝子に重篤化させるウイルスを中国が開発し拡散させたという説も出てきました。アフリカも結局南アフリカのみ流行のようです。黒人、アジア人にかかる人が少ないのも納得です。ところで先日テレビ調査で東京都民が今年忘年会や新年会をやらないと答えた人が70%を超えたそうです。本当に大変な時代となりました。おせちも重箱をつつくタイプとかではなく1人1段というのが販売されたりなど、zoom飲み会しかり日本人も新しい生活様式?!になりそうです。（のりこ）



歓迎プロデュースの独断と偏見により選ばれた「まちの話題」など

「ありがとう！漁師まつり&漁師カレンダーのカメラマンさんサイン会」
11月1日に「みしおね横丁」で「ありがとう！漁師まつり」をつばき会主催で開催！炭火焼サンマやタイ料理、たこ焼き、マッサージなどの出店。そして現在帰港中の123勝栄丸さん協力のもと、マグロをその場でさばいて刺身を提供し、100食が完売！来年の漁師カレンダーのカメラマン幡野広志さんも東京からかけつけ、サイン会&トークショーも！駐車場もいっぱいになるほどたくさんの方にお越しいただき、とても盛り上がりました！つばき会としては、いつも魚を獲ってきてくれる漁師さんたちへありがとうの気持ちを乗せての開催でした。沖のみなさんへの感謝はいつも忘れていませんよ～！



「唐桑で2名の新規就漁者が誕生しました！」
沿岸漁業の担い手育成支援事業が始まって半年。唐桑では20代と40代の2名の新規就漁者が！二人とも漁業は未経験ですが、親方やその家族の丁寧なサポートのもと、新たな道へと歩みだしました！私たちも全力でサポートしたいと思います。

「沿岸漁業の担い手受け入れの勉強会を開催しました！」
10月末には漁師さん、漁協、漁業関係者向けの「漁業の未来を考えよう～若手を受け入れ、育てるためには」という名の勉強会を開催し、50名を超える方々が参加。石巻で新規就漁した若者とその親方からの話や、北部船主協会の吉田鶴男さんによる遠洋近海漁業の事例紹介もあり、参加者からは「沿岸も遠洋も課題は同じ。みんなで盛り上げていきたい」という声がありました。